

乗鞍岳（アイミックスキャンプ場より中洞権現ノ尾根を經由し剣ヶ峰）～ 中部山岳縦断山行

2015年7月26(日) 晴れ

メンバー：池田S（リーダー）、吉川、石川、伊藤、杉浦（記録）
磯部S（自転車で木曾駒ヶ岳登山口まで）

前夜、開田高原の361号線沿いにある駐車場に到着。車は1台もなく、磯部さんのジャンボテントでさち子さんの差し入れで宴会を楽しんだ後、快適に就寝。
翌朝、朝靄がかかっていたが、すぐに晴れ御岳山の稜線が青空にくっきりと浮かび上がっている。アイミックスキャンプ場を通り過ぎるとすぐに5～6台の駐車スペースがある。誰もいないかと思っていたがすでに4台程駐車されていた。
磯部Sさんは北アルプスと中央アルプスをつなげるべく、自転車で上松Aコースを目指す為、いったんお別れする。



6時50分駐車場を出発。ゆるく登る林道を50分程行くと中洞権現ノ尾根の登山口に出る。いきなりの急登を歩き出すとすぐに深い笹の藪漕ぎになる。

道は泥と笹で滑りやすい上に谷側に道が傾いているところもあり、気を付けていてもずるずると何度か滑り落ちそうになる。

メンバーより藪漕ぎの情報は得ていたが、こんなにスリリングとは…。リーダーが確認したところによるとここ2年ほどは登山道の手入れをしていないとのこと。倒木等もそのまま本当に歩きにくい道であったが踏み跡はしっかりついている。

300メートル程の登りを笹と格闘し、ようやく広い尾根に入る。樹林帯の中を緩やかに登っていく。途中、

笹も出てくるが進みにくさは先程の比ではない。

雨が降ると登山道が川になるのか、ところどころ水たまりがあり石にびっしりついた苔がやはり滑りやすい。風も通らず蒸し暑いがここでの一番気になったのは虫。歩行中も寄っては来たが、休憩した瞬間に人の周りに虫だかりができた。ここでは防虫ネットが必需品と思われた。（両耳、顔をブユ？にかまれ1週間ほど痒みに苦しみました。）

藪の中はところどころ変な踏み跡がついていたが、テープとペンキがしっかりついていて道に迷う心配はない。



背の高い男性も笹にすっぽり

中洞権現の分岐の手前で森林限界となり、急に頭上が開け大パノラマが広がった。



中洞権現の分岐。後ろは屏風岳

さっきまでとは打って変わってハイマツ帯は歩きやすく風景を眺めながら快調に進む。
太陽が直接照り付けるが、風が吹いているので暑さもそう気にならない。
ハイマツ帯を抜けるとチングルマのお花畑が広がり、皿石原あたりの雪渓で休憩する。

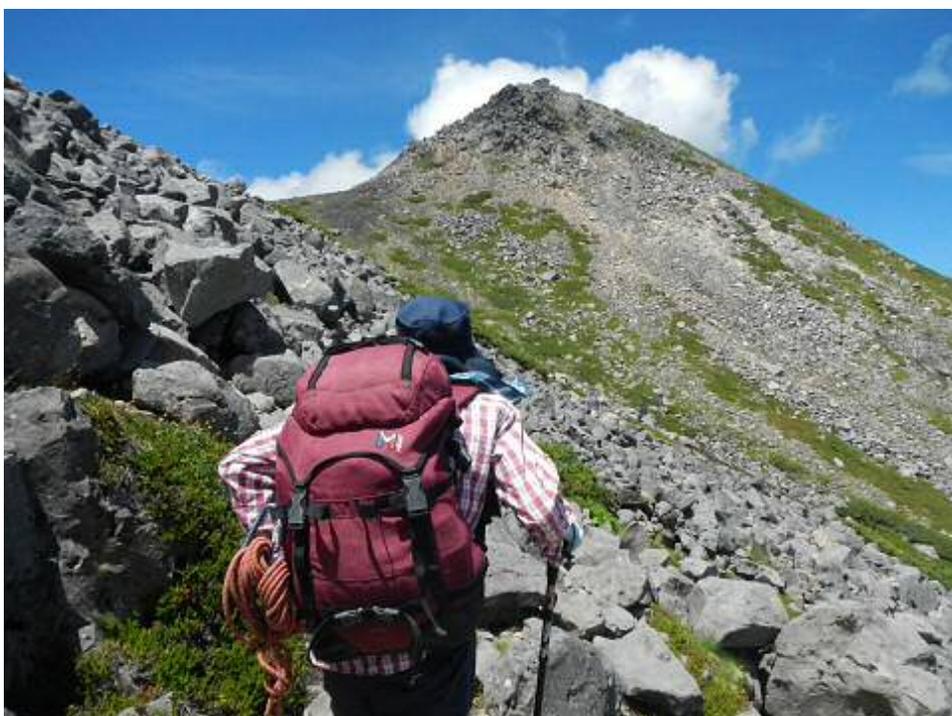


快調、快調♪



快適、快適♪

ふじさんは自分のペースで歩きたいとのことで無線で連絡を取りながら進む。皿石原から頂上までは岩稜帯で大日岳を回り込むと剣ヶ峰の頂上が見える。さらに進むと権現池が青い水をたたえている。



剣ヶ峰見えた～



権現池。池の端には雪渓も



駒草の群生地もあり、まだまだ花が残っている。

頂上手前でなぜか道を見失ってしまい、期せずして岩場をよじ登ることになってしまった。山頂にある鳥居の裏側からひょこり顔を出す格好になったため、鳥居の前で記念撮影をしていた人たちに怪訝な顔をされる。



剣ヶ峰山頂付近。道は右に右に取っていくが、果敢に直登してしまう

ここに来るまでに3組のパーティーとしか会わなかったが、山頂は40～50人位の人で溢れている。記念撮影も順番待であった。

帰りは、あの笹誰か刈っといってくれないかな～と空しい妄想をしながら来た道をピストンする。



剣ヶ峰山頂にて。遠くを見る目がステキ。

所感：行きかう人も少なく静かな山行が楽しめます。激しい藪漕ぎから快適な岩稜帯まで落差が魅力的なコースです。

<タイム>

駐車場 (6:50) - 中洞権現~千町尾根合流点 (11:20) - 剣ヶ峰 (13:00) - 中洞権現~
千町尾根合流点 (14:55) - 駐車場 (18:00)